

『だるま太陽』 的矢より (撮影者) 検査室 倉田 幸則

新年のごあいさつ



県立志摩病院 管理者 片山 繁

新年あけましておめでとうございます。昨年は慌ただしい1年でありましたが、病院職員一同の頑張りで、なんとか県と交わした目標を達成できそうな見込みとなりました。心より感謝申し上げます。

昨年はいろんなことがありました。時間を区切りながらも内科救急を毎日開けること、休棟していた内科6病棟の開棟、小児科常勤医松林先生の赴任など、いろいろな仕組みを少しずつ変えて来ました。十分ではなかったかもしれませんが、以前より住民の皆様から頂いている声の箱の内容にお褒めや激励の言葉が増えてきたのは嬉しい限りです。

また、地域医療振興協会のネットワークを活用し、東京・奈良をはじめ全国から医師・看護師を含め多職種の方々に、この県立志摩病院に支援に来てもらっています。そして現地の職員と一緒に頑張りながら、少しずつ活気ある病院になってきたこともありがたい限りです。

まだまだ地元の方々の思いにすべて応えられているわけではありませんが、地域医療の原点は、限りある医療資源を有効に活用しながら、よりよい医療を提供することであり、管理者の私に与えられた使命は、地域の住民皆様を大切にしながら、県立志摩病院が継続性を持ちつつ、さらに良い病院として歩んで行く事だと思っています。

今後も、先ず、地元の職員が増える仕組みを考えながら、そして患者様には、県立志摩病院が少しでも親しまれる病院となるよう、皆様との距離を少しでも近くしていきたいと思っています。

今年も皆様にとって良い1年になりますよう、また県立志摩病院がますます発展するよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



県立志摩病院 院長 勝峰 康夫

あけましておめでとうございます。2013年も皆様方がお元気で志摩の地が活気にあふれることをお祈り申し上げます。私にとって2012年はあつという間の1年でした。県立志摩病院は2012年の4月に地域医療振興協会を指定管理者とする指定管理者制度に移行し大きく変わりました。一番の変化は救急医療です。24時間体制ではないですが2次の救急医療を毎日行うことができるようになりました。また小児科医1名も加わり小児外来診療も再開しています。現在、県立志摩病院には常勤医26名が勤務していますが、医療スタッフの不足などまだまだ課題も多くあります。順風満帆とはいきませんが、指定管理者制度に移行して初めての新年を迎えることができました。これも住民の皆様方のご理解とご協力によるものだと思っています。

今、志摩を含め日本全体を少子高齢の大きな波が押し寄せています。これからは、ますます医療機関や在宅・介護施設との連携強化が必要となって来ています。2013年が県立志摩病院にとっての正念場だと考えています。住民の皆様方が安心できる持続可能な医療を目標に県立志摩病院は前進します。これからも皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いします。



主なもくじ

P1

◆新年のごあいさつ

P2

- ◆小児科 松林先生と主任児童委員・児童委員との情報交換会を開催しました!
- ◆防災訓練を実施しました
- ◆県立志摩病院に関する地域のみなさまとの懇談会
- ◆神経内科外来 再開のお知らせ

P3

◆ノロウイルス

P4

- ◆外来担当医表 (平成25年1月1日 現在)
- ◆介護教室
- ◆糖尿病教室

小児科 松林先生と主任児童委員・児童委員との情報交換会を開催しました!

11月13日(火)、20日(火)の2回にわたり、当院地域連携センター主催で鳥羽市、志摩市、南伊勢町の主任児童委員、児童委員の皆さんにお集まりいただき、小児科・松林先生との情報交換会を開催しました。

当日は、松林先生のエチオピア活動報告を聞いた後、それぞれ30名ほどの主任児童委員や児童委員の皆さんに担当地区の状況や子どもの問題で困っていることや質問を投げかけていただきました。「多動の児童は、大きくなれば治りますか?」「保護者の生活習慣は、子どもに影響を及ぼしますか?」「低身長の子どものがいて…」「些細なことに不安を感じるお母さんが多くなっている気がします」など、日ごろの活動から気づかれた点について話していただき、それぞれに回答していたところ、あっという間に90分が過ぎました。

また、「夜中の発熱の際、志摩病院では受け入れてもらえないのですか?」など、当院小児科が24時間の受け入れを行うことや入院病棟を再開することへの期待が寄せられ、同席の片山管理者から「入院を受け入れるためには、3人の小児科医が必要です。現状では難しい問題ですが努力をしていきます」とのコメントがありました。参加者からは、「お母さんたちや養護教諭との勉強会なども行ってほしい」との要望もあり、地域医療機関の小児科医とも連携をしながら勉強会も企画をしていく予定です。



小児科 松林 信幸



防災訓練を実施しました

志摩病院は東海地震・東南海地震・南海地震の地震防災対策地域に位置し災害拠点病院に指定されており、志摩地域のみならず三重県下南域の災害医療を担っています。今回の訓練は、志摩地域で震度6の地震が発生したと想定し、医療救護活動を中心に行いました。

地震によりけがをした人たちが志摩病院へ来院するという想定で行われた訓練では、今年も鷺方自治会の協力を得、模擬患者として来院した地域住民の皆さんを数分間で診察し、傷病の程度に応じたそれぞれの治療場所まで搬送しました。傷病者を瞬時に傷病の程度に振り分けることは、災害医療においては欠かせないもので、トリアージと呼ばれています。今回の災害訓練は、このトリアージを中心にした訓練でしたが、課題はあったもののスムーズに運ぶことが出来ました。

地震はいつ起こるかわかりません。しかし、もしもの時に備え訓練をすることは大切な事です。

志摩病院は、災害拠点病院として入院患者、また地域住民の命を守るべく、職員全員が今後も訓練を積みながらその使命を果たして参ります。



県立志摩病院に関する 地域のみなさまとの懇談会

《日時》平成25年1月25日(金) 午後7時~午後8時30分

《会場》阿児アリーナ ベイホール

お問い合わせ先

三重県病院事業庁
県立病院課 戦略経営グループ
059-224-2350

神経内科外来 再開のお知らせ

診察日時 月1回木曜日(午後)
《完全紹介 予約制》 (1月は第4週木曜日・2月は第3週木曜日)

ご予約は地域医療機関を通して、平日8:30~17:00の間に神経内科外来までご連絡をお願いします。
今後の診療日につきましては、外来担当表をご確認ください。

ノロウイルス



今シーズンは、過去10年間で2番目に多く患者さんが報告されています。

【なぜ感染するの?】

- ・人の排泄物などに含まれるノロウイルスが、下水を経て川から海に運ばれ、カキなどの二枚貝の内臓に蓄積されます。それを十分に加熱しないで食べると感染します。
- ・ノロウイルスに感染した人が、十分な手洗いを行わずウイルスが手についたまま調理をすると、食品が汚染され、その食品を食べた人が感染します。
- ・ノロウイルスに感染した人の排泄物やおう吐物を処理した後、手についたウイルスや不適切な処理で残ったウイルスが、何らかの経路で手へ付着し、その汚染された手で物を食べることで感染します。



感染管理認定看護師
松本 麗子

【どのような症状が出るの?】

ウイルスが体内に取り込まれてから下痢などの症状が出るまでの時間は、24～48時間です。主な症状は、下痢・吐き気・おう吐・腹痛・発熱などで、通常3日以内に回復しますが、上記の症状が強い場合は、かかりつけの病院へ受診するようにして下さい。

(下痢が治まり、普通便になった後も1週間程度はウイルスが排出されるため注意が必要)



～高齢者で注意すること～

高齢者では、おう吐物が誤って気管に入り肺炎を起こしたり、のどに詰まって窒息することがありますので十分な注意が必要です。



ノロウイルスに感染しないための予防対策

ノロウイルスに感染しないためには、食事前・トイレ後の手洗いを十分に行うことが大切です。また、日常からの規則正しい生活などで体調管理をすることも重要です。しかし、家族など身近にいる方がノロウイルスに感染した場合は、食器や衣類の消毒やおう吐物の処理を十分に行う必要があります。



【消毒方法】

- ・使用した食器などは、うすめたキッチンハイター等の塩素系漂白剤(以後消毒薬と略)に浸けてから洗って下さい。洗った後に食器乾燥機を使用することで殺菌効果が高くなります。消毒が大変であれば、使い捨ての紙皿などを使用すると便利です。
- ・おう吐物の付着した衣類は、おう吐物を取り除き、消毒薬に浸けてから、通常洗濯をして下さい。洗濯後に高温の乾燥機などを使用すると殺菌効果は高まります。
- ・ドアノブなど日常生活で良く触る場所・物も定期的に消毒薬で拭き取って下さい。金属に消毒薬を使用すると錆びるので消毒後は、水拭きが必要です。

【おう吐物の処理方法】

- ・おう吐物を処理する時は、使い捨てのマスクや袖付のエプロン(予防着)、使い捨ての手袋を着用して下さい。予防着が無い場合は、処理時に着用していた衣類は消毒薬に浸けてから洗って下さい。
- ・おう吐物はペーパータオル等で静かに拭き取り、消毒薬で広範囲に拭き取って下さい。
- ・拭き取ったおう吐物や手袋などはビニール袋に密閉して捨てて下さい。
- ・全ての処理が終わってから、液体石鹸でいねいに手洗いをして下さい。



【消毒薬の作り方】

- ・用意するもの:空の500mlペットボトル、キッチン用の塩素系漂白剤(濃度6%)
ペットボトルキャップ2杯分(10ml)の消毒薬をペットボトルへ入れてから水500mlを入れて下さい。時間が経過すると塩素濃度が低くなり効果が無くなるので、使用する直前に作成するようにしましょう。

※消毒薬を使用する際は、換気の良い場所で行って下さい

● 外来担当医表

(平成25年1月1日現在)

科名		月	火	水	木	金	
内科・循環器科	初診	片山	伊藤	黒川	瀬口	古里	
		山下	山下	山下	担当医	鈴木(孝)	
	再診	瀬口(予約)	///	担当医(予約)	///	///	
		担当医(予約)	///	///	担当医(予約)	担当医(予約)	
神経内科		///	///	///	真鈴川(第4週) (13:30~16:00・予約)	///	
大腸センター		///	吉村 (予約)	///	///	///	
外科		勝峰	新貝	根本	勝峰	根本	
脳神経外科 亀井医師の診察は 10:00~		山本	亀井(第1・3週) 山本(第2・4週)	山本	山本	山本	
緩和ケア科		山際	山際	山際	山際	山際 小西(午後・予約)	
小児科	午前	松林	松林	松林	松林	交替	
	午後 受付14:00~16:00	///	松林(慢性疾患外来・予約)	松林(予防接種・予約)	松林(慢性疾患外来・予約)	松林(乳児健診・予約)	
産婦人科	午前	///	担当医	///	///	///	
	午後	担当医	///	///	///	///	
整形外科	初診/ 予約外 診察時間	中西 伊勢総合病院医師 9:00~12:00	里中 伊勢総合病院医師 9:00~	吉田 伊勢総合病院医師 9:15~	///	田島 9:00~	
	初診	高北	///	竹原 (予約)	///	///	
	再診	田島 (予約)	高北 (リウマチ外来) (予約)	///	///	高北 (予約)	
泌尿器科		塚本	塚本	山田	塚本	塚本	
眼科 火曜日のみ受付 8:00~11:00まで		前田	前田 (初診のみ)	前田	前田	前田	
こころの外来	午前	再診	松山	岡田	松山	///	岡田
		初診	棚橋(第1・3週) 福山(第2・4週)	吉田	吉田	///	///
	午後	初診	松山 (予約)	岡田 (予約)	松山 (予約)	///	岡田 (予約)
		再診	///	吉田	吉田	///	///
皮膚科 受付11:00まで		近藤	///	///	近藤	///	
耳鼻咽喉科		石永	///	///	///	///	

- *受付時間は8:00~11:30となります。
- ※眼科の火曜日は8:00~11:00までとなります。
- ※皮膚科は8:00~11:00までとなります。
- ※小児科の慢性疾患外来は、火曜日と木曜日の14:00~16:00となります。
- ※脳神経外科の亀井医師の診察は10:00からとなります。
- *小児科の1月の金曜日午前診察は、第1・3週は松林医師、第2・4週は三重大学医師の診察となります。
- 2月の金曜日午前診察は、第1・3週は松林医師、第2・4週は三重大学医師の診察となります。
- 松林医師の診療日は、診療のみとなります(乳児健診は午後からとなります)

- 三重大学医師の診療日は診療と乳児健診となります。
- *内科・循環器科・神経内科は完全紹介制となります
- *神経内科の診療日は1月は第4週木曜日、2月は第3週木曜日となります。
- * (///印は、休診日) 土・日・祝日は休診日です。
- * 予約の診察につきましては、各科外来にお問合せください。
- * 外科外来では、乳腺外来と甲状腺外来を併設しています。(月曜日~金曜日)
- * 前回受診後3ヶ月を経過すると初診扱いとなることがあります。
- * 医師の都合により休診又は、変更となる場合がありますので各科にお尋ねください。

~介護教室のお知らせ~

開催日時:毎月第4木曜日13:30~14:30
 場所:当院 講堂(2階売店横)
 ※当日どなたでも無料でご参加いただけます!!
 今年度テーマ
「高齢者の気持ちを知り、家族と共に穏やかに暮らせるように!」

月日	テーマ	具体的内容
1月24日	“力まかせ”の介護から“長続きできる”介護へ	移動技術について実践方法で説明します。動きやすい格好で参加してください。
2月28日	心地良い睡眠を得るために	高齢者が心地よい睡眠を得るための方法を説明します。

三重大学志摩病院 Eナース 高齢者支援チーム
お問い合わせは看護部まで

糖尿病教室のお知らせ

日時:火曜日午後1時30分~
 場所:当院 講堂(2階売店横)
 ※当日どなたでも無料でご参加いただけます!!
 希望者には、血糖測定を行います。

月日	テーマ	講師
1月22日	調子が悪い時はどうしたらいいの?	医師・管理栄養士
2月26日	糖尿病と生活習慣病と癌の関係	医師

お問い合わせ先
 三重大学志摩病院 栄養室 電話:0599-43-0501

